学校番号	119

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学（３年）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版　化学　（実教出版）						
副教材等	アクセスノート　化学　（実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然界を構成する物質についての基本的な理解と、自然界を支配する法則性の合理的な理解を目指し学習します。具体的には、「無機化学」・「有機化学」に焦点をあて学習します。予習復習をたくさんして授業内容の理解に取り組んでください。

2 学習の到達目標

・視覚教材による、科学的な現象の理解。
・実験（演示実験・生徒実験）による関心や観念的になりがちな自然現象の理解、具体的イメージをもち表現できる。
・化学の諸法則を用いた、計算や考察ができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 観察・実験の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察･実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td rowspan="3">無機物質</td><td>周期表</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="3">a: 無機物質の性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする
b: 無機物質の性質や反応などを，元素の周期表と関連付けて思考，判断する。
c：観察・実験の過程から，自らの考えを導き出した報告書を作成したり，発表したりする。
d：無機物質の性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。</td><td rowspan="3">学習状況
探究活動
ノート
プリント
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>非金属元素</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>金属元素</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">2学期</td><td rowspan="5">有機化合物</td><td>有機化合物の
特徴と分類</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="5">a:有機化合物について観察・実験を行うとともに，それらを日常生活に関連付けて探究しようとする。
b:構造式からその性質や反応性を考察，判断できる。
c:有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに，適切な実験器具の選定や実験操作が身に付いている。
d:構造異性体の関係を理解し，知識を身に付けている。代表的な官能基の性質に対する知識を身に付けている。</td><td rowspan="5">学習状況
探究活動
ノート
プリント
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>脂肪族炭化水素</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>酸素を含む
脂肪族炭化水素</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>不飽和炭化水素</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>酸素を含む脂肪族化合物</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

3学期	有機化合物	芳香族炭化水素	○	○	○	○	a:有機化合物について観察・実験を行うとともに，それらを日常生活に関連付けて探究しようとする。 b:構造式からその性質や反応性を考察，判断できる。 c:観察・実験の過程から，自らの考えを導き出し，報告書を作成したり，発表したりする。 d：代表的な官能基の性質に対する知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		酸素を含む芳香族化合物		○		○		
		芳香族化合物の分離			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。